

2021年12月15日

各位

三井住友信託銀行株式会社

日本銀行における気候変動対応を支援するための資金供給オペレーションの対象先への選定
およびコーポレートファイナンスにおける「グリーンオペ枠」の設置について

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山一也、以下「当社」)は、日本銀行が行う「気候変動対応を支援するための資金供給オペレーション」(以下「気候変動対応オペ」)の貸付対象先に選定されました。

また、当社は2019年10月17日に発表済の通り、ESG(環境・社会・企業統治)・SDGs(持続可能な開発目標)の取り組みを推進されるお客さまをご支援することを目的として、コーポレートファイナンスにおける「ESG・SDGs 支援枠」を設置し、当社の金融機能を通じお客さまとともに社会課題の解決を目指して参りましたが、今回、「気候変動対応オペ」も活用し、お客さまの気候変動対応をより強力に金融面で支援するために、コーポレートファイナンスにおける「グリーンオペ枠」を設置しました。

<「グリーンオペ枠」の概要>

項目	内容
総額	1,000億円
対象貸出	① 各種国際原則等に適合するグリーンローン、トランジション・ファイナンス、サステナビリティ・リンク・ローン(気候変動対応に紐づく評価指標が設定されているもの) ② ポジティブ・インパクト金融原則に基づくポジティブ・インパクト・ファイナンス(気候変動対応に紐づくKPIが設定されているもの) 等、わが国の気候変動対応に資すると当社が判断する案件 (当社の判断基準詳細については別途当社HPに開示しております) URL : https://www.smtb.jp/-/media/tb/business/esg-solution/pdf/procedure-disclosure.pdf
対象企業	国内事業法人
貸出条件	日本円建、最長2031年12月末まで
貸出金利	通常の貸出より金利水準を優遇

<ご留意事項>

当社審査の結果、ご希望に添えない場合もございますので、予めご了承ください。

以上